【別紙】令和２年度　学 校 自 己 評 価 重 点 目 標 シ ー ト　（川口市立里中学校）

（Ａ４判横）

学校教育目標	真剣に学ぶ生徒　　人間性豊かな生徒　　心と体を鍛える生徒
目指す学校像	グリットを高め　いつも仲間とともに　夢のある学校

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	名
事務局（教職員）	名

学　校　自　己　評　価							学　校　関　係　者　評　価
領　域	年　度　目　標			年　度　評　価　（令和　年　月　日　現在）			※実施日　令和　２年　２月１９日
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
組織運営	【現状】概ね学校経営方針に基づいて各主任が組織を動かし、教職員が職務を遂行している。 【課題】全教職員が学校運営に参画し、教育公務員として使命感のある職務を遂行することが大切である。	○各主任を核とした組織力を向上させ、学校経営方針を実現する。	○学年・委員会重点目標シートを活用し、各組織の実践をＰＤＣＡサイクルを活かして評価・改善しながら学校経営方針を実現する。 ○報告連絡相談体制、縦横の関係が確立された組織を構築する。				
教育課程	【現状】概ね校内研修テーマを意識した授業が展開できている。 【課題】学校全体で確かな学力を育成する授業を研究する必要がある。	○研究授業や授業観察等を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に全教員が取り組む。	○研究授業や管理職の授業観察時にフィードバックを確実に行う。 ○学力向上プランを活用し、各教科の実践をＰＤＣＡサイクルを活かして評価・改善しながら各教科の目標を達成する。 ○目的を明確にした要請訪問を計画的に行う。 ○３カ月の休校期間を踏まえ、学校再開後、放課後に補習を実施す				
開かれた学校づくり	【現状】小中・中高連携事業を通して児童生徒の不安を取り除くよう努めている。 【課題】本校に対する地域の信頼を一層高める必要がある。	○市民に休校中の取組を含め本校の教育活動を丁寧に発信する。 □小中・中高連携の体験活動を強化する。 ◇地域に根付いた学校となるよう地域との連携を強化する。	○ホームページやメール配信、学校だよりを活用した情報発信を行う。 □担当者間の連携を密に行い、効果的な体験活動を通して児童生徒が希望ある学校生活をイメージできるようにする。 ◇コミュニティースクールを見据え地域行事への参加を通して地域との関わりを深める。				
教職員の資質向上	【現状】概ね組織的に道徳の授業や生徒指導、教育相談を進めている。 【課題】学校全体で豊かな心を育てる指導を行うことが大切である。	○「考え・議論する」道徳の実現を目指した授業づくりに取り組む。 □共通行動で生徒指導にあたる。 ◇生徒の背景を捉え、生徒の置かれた状況に寄り添い教育相談にあたる。	○道徳教育推進教師と連携して全教員が道徳の授業を行う。 □生徒指導主任を核として、共通理解、共通行動を伴いながらチームで生徒指導にあたる。 ◇教育相談部会と連携し、チームで教育相談にあたる。				
施設・設備等の管理	【現状】交通安全教育や防災教育等を通して危機管理意識の高揚に努めている。 【課題】危機管理意識を一層高め、事故を未然に防ぐことが大切である。	○命を守る学校として、交通安全教育や防災教育を充実させ、事故防止を強化する。	○交通事故防止の指導、メール配信を活用した注意喚起を行う。 ○避難経路を年間を通して全教室に掲示する ○日常の校内巡視、毎月の安全点検を確実に実施し、修繕等の事後対応を市教委と連携して行う。				